

会報

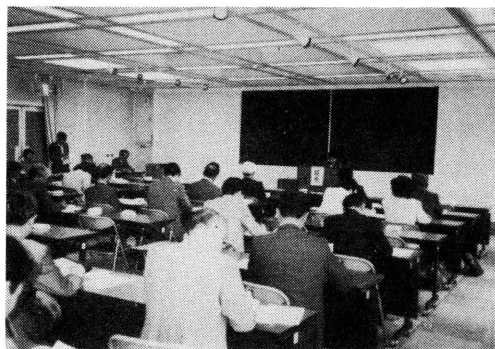
No. 19

平成元年 8 月 1 日

京都府図書館等連絡協議会

事務局

京都市左京区岡崎成勝寺町9
京都府立図書館内
TEL(075)771-0069



平成元年度 京都府図書館等連絡協議会定期総会開催

五月三十日、今年度の総会が長岡京市立図書館において開催されました。

橋本会長の挨拶と、来賓の中小路長岡京市教育長の「生涯学習社会を迎え、ニューメディア・AV機器・資料等の整備により、図書館のインテリジェント化を図る必要がある。」との祝辞のあと、田中城陽市立図書館係長の議長のもとで議事が進められました。

まず、事務局より昭和六十三年年度会務報告及び収支決算報告を、監事より会計監査報告をそれぞれ行い、

提案どおり承認されました。

次に、平成元年度事業計画(案)及び元年度一般会計・特別会計予算(案)も提案どおり認められました。本年度の事業として、研究グループの研究活動の推進、一泊研修会及び実務研修会の開催、「新聞、雑誌総合目録」(昭和五十八年度作成分の改訂版)の刊行、また、「会報」の充実発行などを実施、推進することとなりました。

総会終了後、今年度の図書館等職員表彰が行われ、その功績が称えられました。午後には、高木理事(園部町立園部図書館長)の講演と小泉長岡京市立図書館長の説明と案内により、同図書館の見学を行い、全日程を終了しました。

会長挨拶

図書館をめぐる環境も大きく変わりつつあります。

情報化社会、生涯学習と言われる中で、図書館サービスも、ますます多様化し、地域社会の情報拠点として、また、学習の拠点として、開かれた図書館が一層追求されるであろうし、我々図書館職員も追求して

いかなければならないと考えます。生涯学習体系の中における公共図書館の果たす役割の重要性を十分認識し、住民の多様化、高度化する学習ニーズに対して積極的に対応していかなければなりません。

したがって、自館で対応のできない課題も増えてくることと存じます。今後とも、京図連協の諸事業に積極的に御参加いただき、御研さんいただくとともに、図書館間の相互協力に御努力いただきますようお願いいたします。

平成元年度表彰者

- 旭 龍一(元京都市下京図書館長)
徳平 勝(元京都市伏見中央図書館)
富田 純造(京都市下京図書館長)
岡田 勉(宇治市中央図書館)
小寺美佐江()
森 宇一(元園部町立園部図書館長)
徳岡孫太郎(丹波町中央公民館長)
寺井 硯龍(京北町中央公民館長)
久保 文子(京都府立図書館)



記念講演会

園部町立園部図書館

館長 高木 茂

図書館と公民館は、ともに社会教育施設として位置づけられ、社会教育推進の充実に、それぞれの機能の発揮が要請されているところである。

こうしたことは社会教育法等によって明らかであるが、とりわけ臨教審答申などによる、生涯学習にかかる社会教育施設としての役割が、さらに広い視野にたつて論議される必要が生じてきた。

京都府下における公民館の数は、中央館、地方館、分館を含めて二百三十七館（昭・六十三・七・一現）という数を示しており、しかもそれぞれに図書利用等資料利用の機能を有するとすれば、その効果的活用をより一層高めるために、図書館との連携を密にし、資料の整備や交流、その利用と奉仕等につき、図書館、公民館の一層の交流、交換が重要であらう。

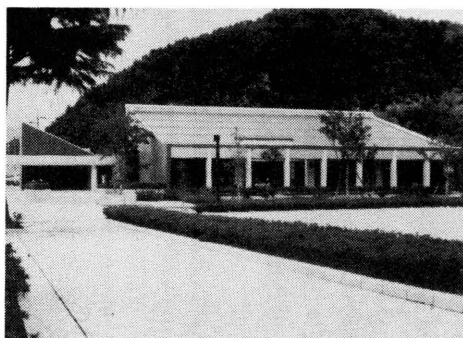


新館オープン

舞鶴市立東図書館

東図書館は、昭和二十一年開設以来東地区の人たちに親しまれてきましたが、建物の老朽化著しく昭和六十三年より全面改築にはいり、本年四月二十一日から開館するはこびとなりました。

市立鶴舞
 建物は、総面積九百三十九平方メートル、ワンフロアで、一般、児童、軽読書、視聴覚、参考図書各コーナー、書庫、研修室、対面朗読室と、海洋資料室からなっています。資料は、新たに購入の二万一千冊と旧館より引継ぎの資料で発売しました。開館から六月までの利用は、貸出



田辺町立北部住民センター図書室

二万三千六百冊、一日平均四百三十冊、登録者二千八百四十五人、登録率四十九%、土、日曜日には平日の約二倍の貸出しで、視聴覚コーナーは、小・中生に人気があります。

旧館の頃と比較し、約二・五倍の利用増ですが、奉仕区域が広く周辺地区へのサービスはまだまでであり、このことは今後市民に親しまれる図書館に成長するための課題かと思っています。

*
|
*
|
*
|
*

今年五月、田辺町に図書館
の分館ができました。

分館は、田辺町の北部地域の住民約一万五千人を利用対象としたものです。

施設は、北部住民センター内にあり、広さは三百平方メートルとなっています。センターには他に老人福祉関係と公民館関係の機能があります。

北立町田

現在の蔵書冊数は約一万八千冊あり、将来は三万冊を蔵書とする予定です。またビデオやコンパクトディスク、カセットテープの視聴コーナーも設けてあります。分館では貸出、返却、資料検索、発注管理等にコンピューターを導入して業務を行っており、今後建設される予定の中央図書館とオンラインで結ぶ予定

報
訃

京都府立図書館長、浜辺一彦氏（当協議会顧問）は、去る七月十五日逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。



です。

五月、六月の利用状況は、二カ月で合計二万三千冊あまりの貸出しを行いました。登録者は約五千人あり、対象人口の三割程度の登録率となっています。このような利用のなかでもっと多くの人が図書館を利用してもらえるように、本と人との出会いの場の充実に努め、地域の中にとけこんだ分館にしていきたいと思っています。

ニュース・News

移動図書館の拡充

京都市中央図書館

中央図書館では、市周辺部などで図書館利用が困難な市民の方々のためにと、従来から行ってきた巡回図書館事業を、昨年九月、内容を大幅に拡大して新たにサービスを開始しました。

本市の移動図書館は、昭和二十五年からスタートし、以来四十年近い歴史をもっています。しかし巡回地域が限られていたことや、貸出しが読書団体を対象として

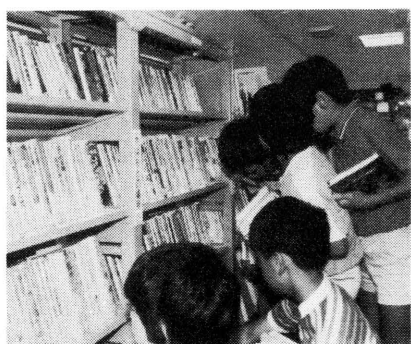
第一回理事会報告

今年度第一回の理事会が四月二十六日、府立図書館で開催されました。昭和六十三年年度事務報告・決算報告・平成元年度事業報告（案）・予算（案）、元年度定期総会及び同表彰職員について、それぞれ協議の結果、ほぼ提案どおり承認され、定期総会に諮られることになりました。今年度の定期総会は長岡京市立図書館を会場とし、総会のあとに、研究集会ないし講演会を開催することになりました。

いたこと、また巡回期日が不定期で、巡回周期も約四十日ごとと長く、これまで、改善の声をいただいていたところでした。

今回取り組みましたのは、巡回基地をこれまでより十八カ所増やして四十五カ所にしたほか、個人貸出しを中心にし、巡回も月一回、定期的に行うことにしました。このほか、巡回車にコンピューター端末機を搭載し、貸出業務の能率アップも図っています。

こうした改善でさらにより多くの市民の方に、本に親しんでいただくことを願っています。



館長の異動

京都市左京図書館

新 田中敏子

東山図書館

新 谷本 守
新 吉村義夫

〃 下京図書館

〃 洛西図書館

〃 向島図書館

向日市立図書館

長岡京市立図書館

城陽市立図書館

田辺町立図書館

木津町立図書館

加茂町立図書館

精華町立図書館

亀岡市立図書館

園部町立園部図書館

京北町中央公民館

綾部市図書館

舞鶴市立東図書館

宮津市立図書館

旧 山田正三
新 富田純造

旧 旭 竜一
新 林 義和

旧 奈佐博司
新 小林 昭

旧 富田純造
新 林田 寛

旧 福谷健彦
新 小泉浩史

旧 目釜尚民
新 山口 隆

旧 森田恒孝
新 田口政広

旧 吉山勝平
新 丹田長史

旧 中村吉三
新 田中幸枝

旧 西本芳男
新 田中善次

旧 松井寛治
新 高向洋祐

旧 佐々木泉
新 高木 茂

旧 森 宇一
新 人 魯 亨

旧 寺井硯龍
新 塩尻史郎

旧 河崎雪雄
新 中西俊夫

旧 山本久衛
新 入柿工美

旧 関 武雄

京都府立総合資料館 新 小嶋一夫

京都府立図書館 旧 行待史朗
新 上田 将

旧 故浜辺一彦

役員等の異動

副会長

新 田中 善次
（精華町立図書館長）

理事

旧 松井 寛治
新 小泉 浩史
（長岡京市立図書館長）

旧 目釜 尚民
新 高木 茂
（園部町立園部図書館長）

旧 森 宇一
新 入柿 工美
（宮津市立図書館長）

旧 関 武雄

顧問

新 上田 将
（京都府立図書館長）

旧 故浜辺 一彦
新 小嶋 一夫
（京都府立総合資料館長）

旧 行待 史朗

新 小泉 浩史
（長岡京市立図書館長）

旧 目釜 尚民

専門委員会ニュース

相互協力委員会

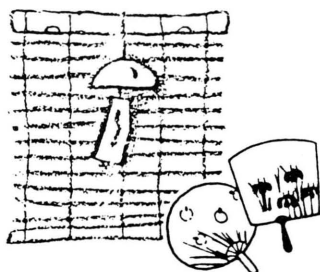
「京都府公共図書館等所蔵
雑誌・新聞総合目録」刊行について

昭和63年10月末日現在で第二次所蔵調査を実施してから10カ月目にしてやっと、この日を迎えることができ、ほっとしています。とはいえ、まだ、刊行（10月1日予定）まで1～3校正作業があります。

それにしても、3月時点で5月刊行の予告をしてから後、最終原稿作業に入ると、厳正な記入の統一を保つ必要から人海戦術ということもいかず、遅々たる進行となってしまいました。

刊行が大幅に遅れてしまうことをお詫びいたしますとともに、協議会加盟の各館にはお煩わせにも拘わらず、快くご協力をいただき誠に有難うございました。

いずれにしても、冊子目録というものは、出来上がった時点では既に、中身は、過去のものという宿命を帯びています。所蔵状況をアップ・ツー・デートに維持するのは、やはりコンピューターということなのかと思いついてるところです。



研修研究委員会

1. 委員会

平成元年3月10日（金）京都府立図書館において、委員会を開催しました。

計画・課題

(1) 研修研究

ア 研修会 63年度は実施できなかったが、新年度は秋に実施予定。

イ 児童奉仕研究 新年度はサブリーダーを設け新企画を予定。

ウ 障害者奉仕研究 新年度は新しく調査研究に着手。

エ 参考奉仕研究 新年度も前年同様の企画を予定。

(2) 一泊研修会 企画メンバーによる検討会で夏頃に成案作成。

(3) 京庫連との共催事業 企画メンバーによる検討会で5月中に成案作成。

2. 一泊研修会

10月頃に一泊研修会を予定しています。前回は昭和63年2月京都府青年会館で、竹内紀吉浦安市立図書館長、武内隆恭草津市立図書館長をお招きして開催し、大変好評でした。

今年度はできたら秋に北部の日本海で、研修を深めたいと、講師、日程等検討中です。メインテーマは「これからの図書館」。

例年府内の図書館長さんも多数出席されますので、多数のご参加を希望しています。

近公図研究集会日程

○ 奉仕部門研究集会

京都府立図書館

十二月

○ 整理部門研究集会

京都市中央図書館

二月（予定）

○ 参考事務研究集会

大阪府立夕陽丘図書館

期日未定

○ 児童奉仕研究集会

大阪府立中央図書館

十月十三日

広報委員会だより

梅雨明けとともに、本格的な夏が巡って来ました。丹後地方の浜辺では、海水浴客で賑わっていることでしょう。

このたび、担当メンバーに一部変更がありましたのでご紹介します。

「広報委員」新 今城孝男（京都市左京図書館）、旧 鍋谷英明（京都市醍醐図書館）。「連絡協力員」新 入柿工美（宮津市立図書館）、旧 中西俊夫（同）です。

図書館に関する情報をお寄せ下さい。